

【お知らせとお願い】

○7月11日（土）の「夏まつり」について

7月11日（土）10:30～13:30に「夏まつり」を開催します。ゲームコーナーや、手作りうちわ、缶バッジづくり、食べ物販売など予定しています。今年も給食で提供しているミルクカレーを販売する予定です。ぜひご家族皆様で遊びに来てください。

なお物価高騰により販売物の価格が値上がりしています。何卒ご理解ください。

※各出店での買い物は現金のみとなります。小銭のご用意をお願いします。

※缶バッジは描いた絵や好きな写真をバッジにできます。

写真をお持ちの際は缶バッジの直径5.8cmより大きいサイズをお持ちください。



○プール活動・水遊びについて

- ・今年の梅雨は涼しい日が多いですが、ここ数年は猛暑日（気温35度以上）が続き熱中症対策の注意喚起がされています。

熱中症事故を防止するため、熱中症の危険度が高い場合は、中止になることもあります。

当園では、環境省の「暑さ指数（WBGT）」に基づき活動場所の暑さ指数（WBGT）を計測器で確認し、さらに気温35℃以上、気温と水温の合計が65℃以上、などの上限の目安も考慮して、プール活動・水遊びの実施の判断を次のように対応いたします。

暑さ指数の目安が31以上の場合 ➡ プール活動は中止 とします。

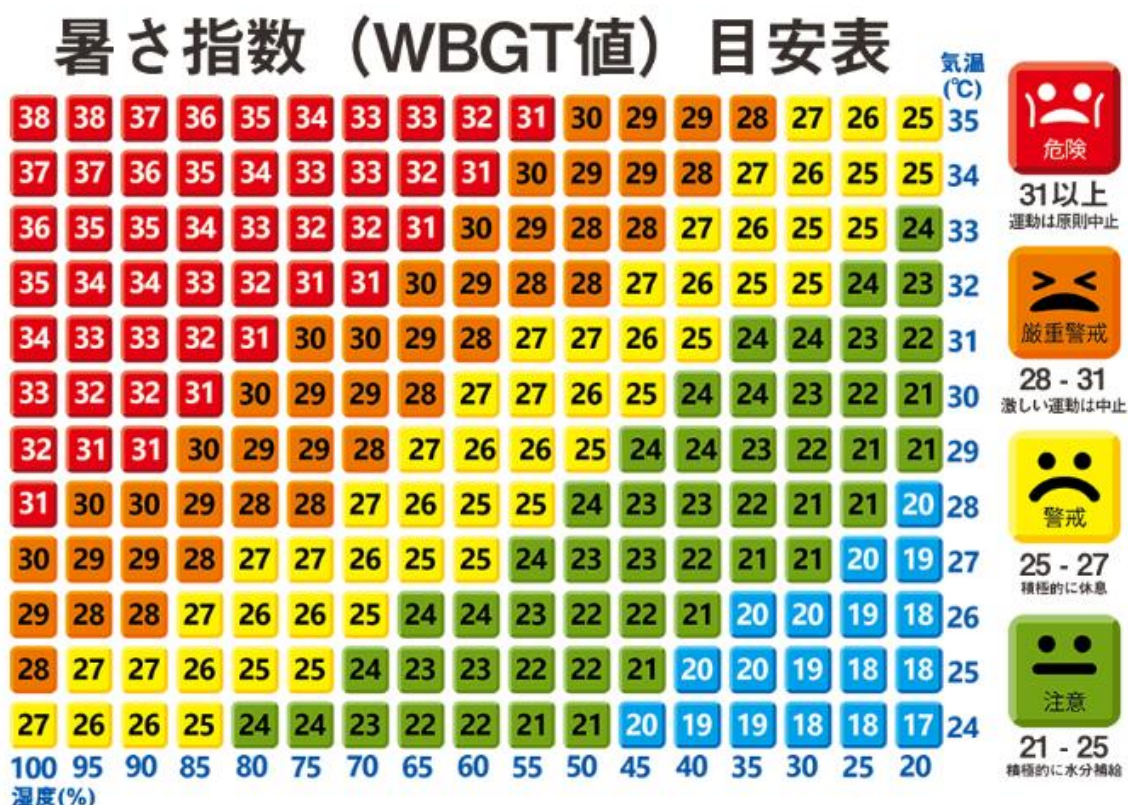
なお、園によってプールや水遊びの環境が異なることから“実施は園判断とする”とされています。本園では園庭の木陰の下にプールを設置するため、屋上に設置している場合とは状況が異なります。また、プール活動は中止となっても、水遊びに関しては汗を流すことを優先し、水泳のように体力を使わないことから、短い時間で実施する日もあります。

猛暑日が長く続くと、プールに入れる機会が減り室内活動が増えることもありますが、安全に実施することを優先していきますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

- ・体が暑さに慣れることを「暑熱順化（しよねつじゅんか）」といいます。体を動かすと体内で熱がたまって体温が上昇し、汗をかくことで放熱して体温を調節しています。この体温調節がうまくいかないと、体内に熱がたまって熱中症を引き起こします。熱中症予防のためには、無理のない範囲で体を動かし、汗をかいて体を暑さに慣れさせることが大切です。暑さに慣れるまでには2週間ほどかかるそうです。熱中症の危険が高まる前に、適度に汗をかく機会を作り体を暑さに慣れさせていきましょう。

暑さ指数（WBGT）とは？

暑さ指数（WBGT）とは、体と外気との熱のやりとり（熱収支）に与える影響の大きい、「気温」、「湿度」、「日射・放射」、「風」の要素をもとに算出された指標です。暑さ指数（WBGT）は熱中症リスクを判断する数値として、運動時や作業時だけでなく、日常生活での指針としても活用されています。



日常生活に関する指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28-31℃※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25-28℃※)	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は 定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には 発生する危険性がある。

※(28-31℃)及び(25-28℃)については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。
日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3」(2013)より

○保育園の周辺は駐車禁止です

先日、メッセージ(連絡帳アプリの)でもお願いを出しましたが、高島平警察から注意喚起があり、近隣の方から「保護者の方が送迎時に車で来ていて、スクールゾーンの時間帯に車を止めている」との通報があったそうです。

保育園の周囲はスクールゾーンであり7:30~8:30は進入禁止となっています。また住宅街で近隣の方の迷惑になること、外部の方から「車が駐車しているため、通行する人が危険である」と再三の苦情の電話連絡もきています。

やむを得ず車で来られる場合は、近隣の駐車場に止めて歩いてきてください。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

○夏の期間の登園予定表の提出のお願い

夏の期間に休暇を予定されているご家庭も多いことと思います。給食の食材発注の都合や、職員の保育体制の調整のため、前もって登園予定をお知らせください。後日予定表を配布しますので期日までに提出をお願いいたします。

厳しい暑さが続く時期ですので休息をとることも大切です。勤務等がお休みの際は、ご自宅で家族のふれあいを大切にしながら、夏の期間を楽しくお過ごしください。

